

2025年1月

お客様各位

拝啓 新春の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を承り厚く御礼申し上げます。

中国の景気減速が鮮明になるなか、弊社の2024年の売上は57億ドル（約8,550億円/対前年-6%）となり、控えめだった上半期の結果を考慮すると、秋季シーズンの勢いにより2024年を好業績で締めくくることができたと言えます。特にプライベートセール（相対取引）は昨年比で41%の増加を記録し、最終的には売上高全体の27%を占めるまで達する大幅な伸びが見られました。落札予想価格の下限総額に対してハンマープライス総額は112%、1ロットあたりの入札者数は3.7人と、いずれでも前年を上回り、特に若い方（アジア地区では44%がミレニアル世代か、より若い世代）の参加が顕著でした。

去年のハイライトは、著名なインテリアデザイナーで音楽業界の巨人、故アーメット・アーティガンの妻として知られる**ミカ・アーティガン・コレクション**のセールでした。慈善家として知られ、常に流行の最先端にいたミカのコレクションの売却を一任され、**マグリットの《光の帝国》**は、ニューヨークで開催されたイブニングセールで1億2,120万米ドル（約182億円）で落札。昨年、1億米ドル以上での落札を記録した、世界で唯一の作品となりました。

2024年9月には、新分野への投資として、クリスティーズはクラシックカーを専門にするオークション会社、Godding & Co., を買収することで合意しました。今年2月にはパリのサロン・レトロモビルでの展示会を皮切りに、毎年恒例のアメリカ・アイランド・オークション（3月6日～7日）を開催することが決まっております。20年以上にわたるクラシックカーおよびコレクターカーの分野で、創業以来一貫してその市場の最高峰として君臨してきたGodding & Co. とのコラボレーションを大変喜ばしく思っております。

また、これまで度々ご案内してまいりましたが、クリスティーズ・アジア地域本部のザ・ヘンダーソンへの移転も昨年9月に無事完了し、**オープニングセール**にも大変ご注目いただきました。既に2万7千人以上の来場者をお迎えしており、2025年より新しいセールスケジュールにて運営し、下見会などの開催準備も整えております。香港にお出かけの際には、ぜひお立ち寄りいただければと存じます。

個人的に注目しているのは、1月22日にロンドンで開催される、伝説のギタリスト、**ジェフ・ベックのギター12本が出品されるセール**です。日本国内からも既にご多くのお問い合わせをいただいております。盛況になることを期待しております。

弊社では本年も引き続き作品のご売却・ご購入について、皆様のご要望にお応えできれば幸いに存じます。例年通り、春シーズンに向けスペシャリストが来日し、マーケット状況や見通しなどについてもお話しさせていただきますので、ぜひこの機会にお問い合わせください。

末筆となりましたが、時節柄ご自愛いただきますようお願いするとともに、皆様のご健勝を心より祈念しております。

敬具



11月ニューヨークのミカ・アーティガン・コレクションのイブニングセールで
マグリット《光の帝国》が落札される

*日本円は参考価格（US\$1= ¥150） 落札価格は買い手数料を含む

株式会社クリスティーズジャパン
代表取締役社長 山口 桂

20世紀・21世紀美術

担当：河崎 千恵、 高山 茉也

20世紀・21世紀美術セール 9月 香港 20th and 21st Century Art September 26-27

香港の社屋がヘンダーソンビルに移転後、記念すべき第一回目のオークションとして「20世紀・21世紀美術」セールが華々しく開催されました。新社屋内で初めて行われた4日間のプレビューでは、ゴッホの風景画やモネの睡蓮が会場入り口でお客様を出迎え、約12,000人の来場者で賑わいました。

トップロットとなったゴッホの風景画は、30年以上、公の場に出ることがなかった希少性も相まって、2億5,062万香港ドル（約47.6億円）で落札、アジアにおけるアーティストの世界記録を更新しました。モネの睡蓮も2億3,337万香港ドル（約44.3億円）で、こちらもアジアにおけるアーティストの世界記録を記録しています。イブニングセールを通じて90%以上の落札率を誇り、ザオ・ウーキーの三連画（9537万香港ドル/18.1億円）、キム・ワンキ（5,603万香港ドル/10.6億円）などが高額で落札されたほか、フィリピンの作家ロナルド・ヴェンチャー（3,667万香港ドル/6.9億円）がエスティメート下値の20倍の落札価格をつけるなど、8名の作家がオークション記録を更新しました。

20世紀・21世紀美術ウィーク 11月 ニューヨーク 20th & 21st Century Art Auctions November 19-22

秋季ニューヨークのセールウィークは、昨年97歳で亡くなった著名なアートコレクターのミカ・アーティガンのシングルオーナーコレクションセールで幕を開けました。1968年に同氏が購入し、コレクションの核となったマグリットの《光の帝国》は、10分間もの白熱した入札争いの末、1億2,120万米ドル（約182億円）で落札され、アーティストの世界記録を樹立しました。2024年は、アンドレ・ブルトンのシュルレアリスム宣言から100周年を迎えた年でもありましたが、本作はシュルレアリスムの作品としてもオークション史上最高落札額となりました。落札率は100%で、質の高いシングルオーナーセールの人気の高さがうかがえました。

同日、続いて開催された20世紀美術イブニングセールでは、同じくマグリットの《光の帝国》の紙作品が1,881万米ドル（28.2億円）で落札されて、同アーティストの紙作品の世界記録となり、マグリットは記録が2つも更新されるという記念すべき一夜となりました。

11月22日に開催された21世紀美術イブニングセールは、落札率100%のホワイトグローブセールで、バスキアの紙作品が2,295万米ドル（34.4億円）で落札され、トップロットとなるとともに、同アーティストの紙作品として最高額となりました。

今回のセールウィークでは、エド・ルシェ、ヒラリー・ベシス、ウィリアム・エグルストン、サラ・ジー、ロニ・ホーン、フィレレイ・バエズ、アナ・メンディエタなど18人のアーティストが記録を更新しました。

オンラインで開催されたピカソ・セラミックセールは、今回も落札率100%でエスティメート下値の254%の落札価格を記録し、マーケットの手堅さが証明されました。



ルネ・マグリット《光の帝国》
1億2,120万米ドル（約182億円）
11月19日 ニューヨーク
ミカ・アーティガン・コレクション

東洋美術

担当：伊波 誠二、久世 雅彦

日本・韓国美術 9月 ニューヨーク *Japanese and Korean Art September 17*

アメリカ大統領選挙を2か月弱後に控え、オークション結果に影響を危ぶむ声もありましたが、欧州個人の根付コレクション46点のうち、[木彫霊獣差し印章根付](#)が3万7,800米ドル（約567万円）などエスティメート上値を悠々と超える落札が多数生まれ、セール全体ではバリューベースで95.77%、ロットベースで88.77%の好成績となりました。[井上有一《喝》](#)7万5,600米ドル（約1,134万円）や[明珍宗春《鉄鳥自在置物》](#)6万5,520米ドル（約983万円）には、中華圏からのビッドも入りました。

毎回話題に上がる[葛飾北斎《神奈川 沖浪裏》](#)は85万6,800米ドル（約1.3億円）、[歌川広重《大はしあたけの夕立》](#)が11万8,400米ドル（約1,777万円）など浮世絵関連が引き続き好調で、1942年にコペンハーゲンにて開催されたオークション記録を持ち、河鍋暁斎、ジョサイア・コンドルの来歴がある[北斎の肉筆《鯉図》](#)には活発なビッドの結果、65万5,200米ドル（約9,828万円）となりました。韓国美術では、陶磁器に比べると絵画への需要が高い傾向と思われれます。

葛飾北斎《鯉図》 65万5,200米ドル（約9,800万円）
9月17日 ニューヨーク 日本・韓国美術オークション



中国書画 11月 香港 *Fine Chinese Classical Paintings and Calligraphy November 27*
Fine Chinese Modern and Contemporary Ink Paintings November 28

中国書画部門にとって、香港の新社屋 Henderson でのこけら落としとなる今回、春季香港オークション期間中に特別展覧されたハロルド・ウォン・コレクションのうち、43ロットが前半に登場し、唐寅、文嘉、陳淳、石濤、董其昌、王鐸、など名立たる書家の作品が次々と落札されていきました。先の数シーズンに唐時代のお経が話題となりましたが、[唐の佛説灌頂經](#)はエスティメート下値の2倍以上の327万6,000香港ドル（約6,200万円）や[明時代《文殊観音弥勒虚空蔵菩薩》](#)は20倍以上となる、529万2,000香港ドル（約1億円）になり、佛教絵画が非常に熱い分野へと成長していました。

今季の最大の目玉と言える C C Wang コレクション6点のうち、[呉歴《陶圃松菊図》](#)は、エスティメート2,500万香港ドルから長い時間を掛け、4,393万5,000香港ドル（約8.4億円）にて落札されました。この結果、[古書画分野](#)のバリューベースは86.16%となり、重要作品や人気ジャンルの作品に対しては、景気不安を忘れてしまうかのような落札額を導き出すことになりました。

[近代書画](#)では[呉冠中《桂林日出》](#)油彩木板の作品が1,247万5,000香港ドル（約2.3億円）で落札されたのを筆頭に、堅調な様子でオークションは進み、バリューベースで89.13%、ロットベースで84.77%となりました。

呉歴《陶圃松菊図》4,393万5,000香港ドル（約8.4億円）
11月27日 香港 中国古書画オークション



中国美術 (器物) 9月・11月 香港

The Au Bak Ling Collection: The Inaugural Sale September 26
Cosmic Essence - Archaic Jades from the Lantien Shanfang Collection November 29
Eternal Ming - Treasures from the MQJ Collection November 29
Masterpieces of Chinese Art from the Palmer Family Collection November 29
Important Chinese Ceramics and Works of Art November 29

2024 年下半年クリスティーズの中国美術オークションは、9月と11月の香港新社屋オープニングイベント期間中に5.7億香港ドル(約109億円)を売り上げ、幕を閉じました。期間中5つのオークションで51%のロットがエスティメート高値を超え、秋季のオークション結果としては、2017年以来最も良い結果となり、この分野における弊社の優位性と、市場の底堅さを印象づけました。市場に新規参入した買手が前年に比べ92%増加したことに加え、ミレニアルバイヤーが41%増加しました。

4件のシングルオーナーコレクションの内、9月の [Au Bak Ling コレクション](#)、11月の [Lantien Shanfang 翡翠コレクション](#)、[明時代の家具の MQJ コレクション](#)の3セールは落札率100%、[パルマー・コレクション](#)も92%の落札率を記録しました。

また、中国本土の買手の総落札額が前年同期比31%増、東南アジアの買手の総落札額が前年同期比23%増であったことも印象的です。

《青花文玉壺春瓶》
2,760万香港ドル(約5.2億円)
9月26日 香港 Au Bak Ling コレクション



ラグジュアリー

宝石担当：笠原 可名 時計担当：玉置 雅司

宝石 10月 香港
11月 ジュネーブ

Magnificent Jewels October 29
Magnificent Jewels November 12

2024年のクリスティーズ宝石オークションを一文字で表すとすれば、稀少性に優れた最高級のカラージェムに恵まれた「彩」の年であったと感じています。

その幕開けとなったのが今春5月のクリスティーズ香港に出品されたカルティエのトウッティ・フルッティ (Tutti Frutti) ネックレス。細やかな彫刻を施したカラージェムを組合せる「トウッティ・フルッティ」は創業者ルイ・フランソワ・カルティエの孫であるジャックが1910年代にインドに渡り、現地の宝飾技法を学んだことから誕生した同社のアイコン的シリーズ。今回出品されたのは同社が「INDIA」と題して2007年に製作したユニークピースで、ネックレスには合計94ctのビルマ産ルビー、400ctのビルマ産サファイア、233ctのコロンビア産エメラルドを使用しています。事前エスティメート下限の二倍以上となる6,777万5,000香港ドル(約13億円)で落札、同オークションのトップロットを飾りました。



《トウッティ・フルッティ (Tutti Frutti) ネックレス》
カルティエ 6,777万5,000香港ドル(約13億円)
5月27日 香港 宝石オークション

そして今秋のハイライトとなったのが[アガ・カーン・エメラルド・ブローチ](#)。イランのサドルディン・アガ・カーン王子が妻だったニーナ・ダイアーへの贈りものとしてカルティエにオーダーした作品です。中央に配置された37ctのコロンビア産エメラルドは、美しいグリーンと、透かせば向こう側が見える比類無き透明度の高さが見る者を虜にする特別なジェム。1969年5月に初開催したクリスティーズ・ジュネーブのオークションに出品されて以来、ヴァンクリーフ&アーペル、ハリーウィンストンなど名だたるメゾンを旅して、55年ぶり二度目の登場となりました。直近のカラージェム・マーケットの高騰を受け強気の520-700万スイスフランの事前エスティメートにも関わらず、オークション前から多くのお問合せをいただき、776万5,000スイスフラン(約13億円)で落札されました。



《アガ・カーン・エメラルド・ブローチ》
カルティエ 776万5,000スイスフラン (約13億円)
11月12日 ジュネーブ 宝石オークション

2024年もオークションのラグジュアリー部門、宝石部門ともにマーケットシェア1位を獲得いたしました。マーケットリーダーとしての名誉を得ることができましたのも一重に日頃から多大なるご支援をくださる皆様のお力と弊社一同心より御礼申し上げます。2025年春期オークションの査定会を年明け1月に予定しております。完全予約制のプライベート査定会です、お気軽にお申し付けくださいませ。

時計 11月 ジュネーブ Rare Watches Including Watches for ELA November 11

サッカー界のレジェンド、ジネディーヌ・ジダン氏がアンバサダーを24年間務める、欧州ロイコジストロフィ協会 (ELA European Leukodystrophy Association) の初めての[チャリティオークション](#)が11月11日にクリスティーズ・ジュネーブで行われました。

このプロジェクトは、フランソワ・アンリ・ピノー氏によって発案され、11ブランドのユニークピースとプライベートのお客様の時計1本を加えた、合計12本がオークションに出品され、記念すべきロットNo1のハンマーはジダン氏によっておろされました。落札総額の84万3,000スイスフラン(約1.4億円)が医療研究費と困難に直面している患者とその家族への支援として寄付されます。

また、同日にはレアウォッチオークションが行われ、148本の時計がオークションにかけられ、94%の落札率、合計金額1,804万1,020スイスフラン(約31億円)という結果になりました。(12本のチャリティーロットを含む)

欧州ロイコジストロフィ協会のためのチャリティオークションでロット1のオークショニアを務めるジダン氏

オークションのトップロットは、[1935年製のブレゲ永久カレンダーモデル](#)で、フランスのデザイナーであり、ココ・シャネル氏の恋人であったポール・イリブ氏が所有していた時計が、事前の査定金額の約10倍に当たる192万500スイスフラン（約3.3億円）で日本人のコレクターによって落札されました。

また同じく[ブレゲのプラチナ製ポケットウォッチ 2004年製](#)が日本のお客様よりご出品され、エスティメートの約6倍の63万スイスフラン（約1億円）で落札されました。



ブレゲ永久カレンダーモデル 1935年製
192万500スイスフラン（約3.3億円）
11月11日 ジュネーブ 時計オークション

*日本円は参考価格（CHF1= ¥170）落札価格は買い手数料を含む

各分野スペシャリスト来日予定

西洋美術部門	【20/21世紀美術 (NY 印象派・近代絵画)】		
	シアンヌ・チャトコウ	1月20日～24日	
東洋美術部門	【中国陶磁器 (香港)】	マルコ・アルメイダ	1月14日～20日
ラグジュアリー部門	【宝石 (香港)】	ヴィッキー・セック	関西 1月13日～14日 関東 1月15日～17日

Instagram
@christiesjapan
クリスティーズジャパン
公式日本語アカウント

\ click ↓ /



\ click ↓ /



クリスティーズジャパン
日本語 WEBPAGE

Follow Christie's

